第10回　宮城舞台技術者協会会議　議事録

日時	2020 年 11 月 11 日 18 時 00 分 ～ 19 時 00 分	場所	株式会社東北共立 ラボ
議題	・「宮城県ディスプレイ協会」主催の展示会参加について ・次年度の役員について ・2月の総会について		

出席者	佐野和永（アーツ）	村下弘修（I・C・Cインターナショナル）	伊藤幸夫（東北共立）	菊地孝（NASS）	今野芳明（ファクトリー・K）
	橋本徳郎（フォーバックス）	小林道子（舞台監督工房）	斎藤豊寿（ライティングケン）	斎藤環江（ライティングケン）	松崎太郎（アトリエミセイ）
	山品晃彦（THE MODERN WORLD）	棟居尚（ムネスエ音響）	太田淳也	小宮芳紀	関紀子
	髙橋裕介				
				法人代表者、個人事業主、事務局 16名	

決定事項

■「宮城県ディスプレイ協会」主催の展示会参加について

○後援として、参加することに決まりました。

○現在の協会費の残高が、23万程ありますので、3万円以内程度で、紹介パネルを掲示することにしました。

○次回の開催日は、12月9日水曜日　18時から。 場所は改めて連絡いたします。

会議内容

■次年度の役員について

◎何点か皆様より質問がございましたので、お知らせ致します。

●代表理事について

理事＝代表理事ということではなく、定款に記載ある通り、選ばれた理事さんが集まって、代表理事を決めていただくことになっております。

●推薦者が特にいない

それぞれの皆さんがお考えになることですので、「該当者いない」でも結構ですが、理事3名、監事1名が最低人数になりますので、 その人数は、選ばないといけません。

●現在の方の再任をお願いしてもいいのか

事務局としては、定款にルールがないので、問題ないと考えます。

◎事務局としましては、今月末で締め切り、提出いただきました推薦書に書いてある候補者の皆様に各、理事、監事、事務局をお引き受けいただけるか、今野代表より、電話もしくはメール連絡をさせていただきたく思っております。是非とも、ご協力をお願い致します。

その後、以前からお伝えしていました通り、12/9の定例会で、皆様に、最終決定を取らせていただきたく思います。

◎以上の内容を受けて、参加会員からの意見

●推薦書と一緒に、現在の会員名簿を一緒に添付していただきたかった。現在は、HPの会員名簿＋ドットフリー武藤さんです。46社です。

→ 次年度以降、対応させていただきます。

●会員が法人、個人の代表者であるがゆえに、それ以外の方を推薦してもいいのか。現在の事務局担当者は、名簿に名前がない。

●今回の改選が、今後の活動を活発化させるための再任、もしくは、増員という形であってほしい。

◎事務局としましても、活動活発化のために、皆様からの推薦書をお待ちしております。よろしくお願いします。

■2月の総会について

◎平日、休日どちらが良いか。場所は会議室、ホテルどちらが良いか。懇親会、コロナ禍の中どう致しましょうか。

●全員が集まるのはなかなか難しいと思われるので、定例会と同じ、水曜日がいい。

会議内容

●定例会と同じような日程だと、2月10日の第2水曜日。翌日が2/11で、現場がかぶっている方が多いのでは？3週目にしてみるのも良いかも。

●懇親会をやるのは、なかなか難しい時期であるので、お茶程度で会議室がいいのでは。車の方も多いと考える。

●日程案を考え、皆さんにアンケートをとってみる。

■次年度以降の会費について

●現在、法人会員10,000円、個人会員3,000円となっています。どんなことにお金を使っていきたいかも含め、12月の定例会の際に考えたいと思っています。

■「宮城県ディスプレイ協会」主催の展示会参加について

◎フォーバックス橋本様よりのご提案

「宮城県ディスプレイ協会」さん主催の展示会が開催されます。私共と同じように、コロナ禍で苦しんでおります。イベントが少ない中、待っていても仕方がない、何か仕掛けましょうということで、開かれる展示会になります。出展者さんの協賛費で、会を運営しようとしておりますが、当協会にお願いしたいことは、「後援」という形で、名前を出していただきたい。

可能であれば、1万でも2万円でも捻出できるのであれば、技術者協会の活動内容を掲載する場所を作ることができます。潤沢に協会費があるとは思っておりませんが、少しでも技術者協会のことを知っていただける機会なのではと考え、皆様にお願いをさせていただきました。

◎以上の内容を含め、質問等

●出展者さんの展示内容は、コロナに関するものになるんでしょうか？

→ディスプレイ協会に加盟している企業さんは、私達のような裏方さんだったり、様々な商材を扱っている企業さんだったりします。それらの企業さんで作った商品、扱っている商品やレンタル商品の紹介等々、1社あたり、3m×6mのブース内で展示を行います。

来場者は、招待者のみとなり、一般のお客様は対象外となります。どちらかと言えば、ビジネスに特化した展示会です。

宮城舞台技術者協会が後援となり、どんな意味があるのかというと、「困っている仲間、みんな集めよう」というところで、後援の部分を膨らませ、皆さんに周知していただくということになります。現状、県内の「看板協会」はじめ、様々な協会さんが賛同し、後援という形で参加を表明されています。できるだけ、多くの後援を集めたいと考えております。

ビジネス関係の方が多く来場される予定ですが、私たちの活動をたくさんの方に周知していただくことで、次の活動に結びつけていけるのではないかと考えます。

→ブース内で、8月のバックステージツアーで記録撮影したビデオや写真等を活用するのもありかと。

→直接的な見返りをいただくことが目的ではなく、あくまでも周知。

→今回、後援をすることにより、私達が次の活動を行う際に、後援等でお名前を出していただくこともできるようになる。

＊後援として、参加することに決まりました。

＊また、現在の協会費の残高が、23万程ありますので、3万円以内程度で、紹介パネルを掲示することにしました。

＊ビデオ紹介用のモニター提供者を探しております。（共立さんいかがでしょうか？）

＊事務局で掲示内容をまとめ、皆さんにHPの会員ページ上でお知らせします。ご意見等あればそこで受付致します。その後、フォーバックスさんに掲示パネルを作成していただきます。

■今回のオンライン配信について（報告）

○直前のお知らせということもあり、参加者は、0人でした。

○次回の参加人数も参考にし、次年度からの導入を検討したいと思います。